

平成 25 年日本臨床細胞学会京都府支部

教育研修会時幹事会議事録

- ・ 日 時 : 平成 25 年 12 月 15 日 (日) 12 時 30 分～13 時 30 分
- ・ 会 場 : 京都府立医科大学附属図書館合同講義棟

- ・ 議事内容
- 1) 学術委員会報告 (伊東委員長・川辺副委員長)
第 30 回日本臨床細胞学会京都府支部学術集会
参加者数 : 106 名 (専門医 : 16 名、検査士 : 85 名、その他 : 5 名)
期日 : 平成 25 年 7 月 14 日 (日)
会場 : 京都大学百周年時計台記念国際ホール
特別講演 1 : 『悪性中皮腫診断における体腔液細胞診の意義と今後の展望』
亀井 敏昭 先生 山口県立総合医療センター病理科
特別講演 2 : 『イレッサが教えたもの—EGFR 遺伝子変異検査, 臨床試験, 肺障害と日本人の遺伝的特異性—』
萩原 弘一先生 埼玉医科大学病院呼吸器病センター・呼吸器内科
要望講演 (ランチョンセミナー) : 『京都府支部学術集会 30 年を振り返って』
土橋 康成 先生 ルイ・パストゥール医学研究センター
中山 啓三 先生 株式会社ジェ・シ・アル
一般演題 : 7 題
- 2) 教育委員会報告 (南口委員長・真下副委員長)
開催日時 : 2013 年 12 月 15 日 (日) 14:00～17:10 (13 : 20 受付開始)
会場 : 京都府立医科大学附属図書館合同講義棟
教育講演 1 「UICC TNM 知って、つけて、活かす」
寺本 典弘先生 (四国がんセンター病理)
教育講演 2 「京都市立病院における CT ガイド下肺穿刺細胞診と細胞検査士会活動について」
三宅 秀一先生 (京都市立病院臨床検査技術科)
スライドカンファレンス :
症例 1 (子宮頸部 LBC 標本)
出題者 河崎 瑞枝 (京都第一赤十字病院病理診断科部)
回答者 竹中 博昭 (舞鶴共済病院臨床検査科)
症例 2 (肺穿刺吸引)

出題者 二宮 慶太（京都桂病院検査科）

回答者 松本 孝之（ファルコバイオシステムズ）

3) 精度管理委員会報告（岸本委員長・加藤副委員長）

第 26 回生活習慣病予防健診細胞診研修会報告

期日：平成 26 年 2 月 23 日（日）13 時 00 分～17 時 10 分

会場：キャンパスプラザ京都第 1 講義室

講演 1 高橋健太郎先生 滋賀医大 仮題（子宮頸がん検診の現状）

講演 2 三上 芳喜先生 京都大学 仮題（子宮頸部の病理 ベセスダ最新話題も含む）

スライドカンファレンス 症例 1 J C R 腹水、症例 2 未定、症例 3 未定

4) 細胞検査士会報告（三宅細胞検査士部会長）

来年度の子宮日の活動：4 月 20 日（ゼスト御池河原町広場）

5) 日本臨床細胞学会・近畿連合会の報告

・日本臨床細胞学会より

平成 29 年（2017 年）度より新たな細胞診専門医研修カリキュラムによる新研修制度が始まり、平成 32 年ないし 33 年に新制度による試験および認定が行われる予定である。新研修制度では細胞診断学の研修を受けるにふさわしい施設（教育研修施設）が認定され、その施設で研修を受けることが受験資格を得る要件となる。現在、全国で 179 施設が日本臨床細胞学会教育研修施設となっているが、十分な数とはいえず、地域による分布が均等とはいえない状況にある。京都府においては、独立行政法人国立病院機構京都医療センター、京都大学医学部附属病院、が認定されているに過ぎない（近畿地区では滋賀県、和歌山県において認定施設なし）。京都府において認定施設を増やすよう、関係各所に働きかけていく必要がある。

・近畿連合会

来年 4 月以降に新役員の推戴

近畿連合会学術集会；2015 年に京都担当 ⇒ 来年には日程や場所確保が必要

6) 京都府支部の名称変更と支部会則の変更について

・「京都臨床細胞学会」に変更することで承認が得られた

・会則変更について、意見交換された（修正案添付）

7) 幹事の改選について

・ 役員数は現状と同様に幹事 30 人（専門医 12、検査士 18）、監事 2 人（同各 1）を目途

とする

- ・ 役員選出方法は前回と同様のスケジュールで行う（前回のスケジュールは下記）
 - 12/25 往復はがきで立候補、推薦を受け付け(1/15 締切)
 - 1/25 臨時幹事会開催 ⇒ 新役員を決定・互選で支部長決定
 - 2/8 監事、各種委員会役員・委員および事務局を内定
 - 2/13 総会で承認
- ・ 今回は総会が2月23日となる
- ・ 立候補、推薦用紙は、往復はがきから普通のはがきに変更し、メールや電話等で返信してもらう

8) その他

- ・ 総会終了後に三宅検査士会長の定年退職慰労会を開催する
- ・ 民医連中央病院細胞診セミナー
 - 一次試験10名中3名が合格、一次試験免状3名 ⇒ 二次受験6名
 - 二次試験で4名の合格者であった
- ・ 京都府医師会子宮がん検診部会報告（12/13開催）
 - 検体採取法の不備が多く、ベセスダ基準を杓子定規に充てると混乱する。
 - 産婦人科の臨床の専門医を幹事に巻き込んで、本会全体で取り組むべき課題である。
 - 京都府立医科大学の産婦人科講師；澤田 守男先生に加入いただきたい。
 - 京大の臨床医も積極的に勧誘していただきたい。